

大阪 グランキューブ大阪から始まる 中之島マップ

徒歩&京阪電車で行ける中之島の建築と橋・公園

NAKANOSHIMA MAP

STARTING FROM OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER

Illustration/Minoru Inoue
Design&Map/Fujiki Tatsuzo

supported by 北区名所八十八景

3 ダイビル本館

大大阪の傑作、渡辺節・村野藤吾の師弟設計の初代ダイビル(1925~2009)は2013年に高層ビルに生まれ変わるも、美しいロマネスク調レリーフの列柱は健在。



京阪中之島駅

大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)

1 リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツトコレクション

“関西の迎賓館”と称された新大阪ホテル(1935~73)の流れを汲み、1965年開業。メインラウンジから望む日本庭園の滝は唯一無二、はるか古の雅の現代流再現だ。

2 大阪市立科学館

1989年開館。宇宙とエネルギーをテーマにした体験型施設で大人も楽しめる。最新デジタル投影と立体音響で最先端の没入体験を味わえるプラネタリウムは、学芸員の生解説付き。



4 大同生命大阪本社ビル

1993年竣工。下が細く上が太い造りのインパクトのあるビルとして有名。ヴォーリス設計の旧本社ビル(1925~90)の流れを汲む。創業者・広岡浅子をモデルにしたNHK連続テレビ小説「あさが来た」でも話題に。



5 中之島フェスティバルシティ

南壁面に「牧神、音楽を楽しむの図」のレリーフが再現した中之島フェスティバルタワー(東棟・2012年竣工)にはフェスティバルホールと朝日新聞社などが、中之島フェスティバルタワー・ウエスト(西棟・17年)には中之島香雪美術館とコンラッド大阪などが入る。200m摩天楼の絶景。



6 日本銀行大阪支店

重厚なネオ・バロック様式は、御堂筋に残る唯一の明治建築(1903年竣工)。設計は日本近代建築の父・辰野金吾ら。ドーム型屋根の下の貴賓室の装飾は圧巻。見学ツアーあり。



9 大阪市中央公会堂

国の重要文化財にしてモダン大阪のアイコン。1918年開館のルネッサンス様式建築で、アインシュタインやガガーリンもここで講演を行った。3階東側の特別室は館内最大の見どころ。



11 こども本の森 中之島

2020年開館。木材基調で温かみのある安藤忠雄設計の子ども向け図書館。3層吹き抜けの閲覧室は館名そのもので、階段やブリッジ通路は迷路のよう。



13 中之島公園バラ園

1981年開園。毎年夏・秋シーズンに約310種、約3,700株のバラが咲く都会のオアシス。入場無料、夜間ライトアップあり。各国プリンセスの名を冠したバラを探したい。



12 難波橋 (ライオン橋)

1915年竣工。彫刻家・天岡均一作の「阿伴」のライオン像2組でおなじみ、モダン大阪を象徴する名橋。華麗な照明灯、高欄の獅子像、公園と一体となった階段もぜひ歩こう。



14 天神橋

日本一長い天神橋筋商店街に続く橋で1934年竣工。水平を描くダブルアーチと垂直に吹き上げる剣先噴水のコントラストが美しい。橋裏の鋼材による幾何学模様も魅力。



10 大阪市立東洋陶磁美術館

住友寄贈の「安宅コレクション」を中心に油滴天目茶碗、飛青磁花生の国宝2件のほか、重要文化財13件を含む約5,700件を所蔵。世界一級の東洋陶磁を揃える。1982年開館。



8 大阪府立中之島図書館

大阪を代表する重要文化財で1904年竣工のザ・図書館。ギリシャ神殿を思わせるコリント式円柱が聳える正面に立つと、気分もアガる。美しい吹き抜けの中央ホールも見逃せない。

7 大阪市役所本庁舎

1985年竣工の現庁舎(4代目)には1921年に竣工した3代目庁舎が一部使われていて、外装にその名残が見られる。1階ロビーには旧庁舎の遺構「大阪市廳」の札が展示。



※裏面もぜひ

グランキューブ大阪を起点にめぐる 中之島三二散策

大阪

橋を渡る楽しみ満載の、アートと歴史あるき

NAKANOSHIMA SHORT WALK

TOUR STARTING FROM OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER

Illustration/Minoru Inoue
Design&Map/Fujiki Tatsuzo

supported by 北区名所八十八景

中之島は企業や官公庁だけでなく文化施設が集中し、散策にうってつけの街ですが、それだけではありません。近世から幕末～近代、そして現代と、歴史のグラデーションを実感しながら歩くことができます。グランキューブ大阪発着の2コースをご紹介します。

案内人 とうみんてい いす 島民亭流井守
三度の食事と同じくらい川沿い散策が好きなラテン気質の大阪歴史探訪スペシャリスト。北区の魅力発信フリーペーパー「つひまぶ」編集長。

大阪府立
国際会議場
(グランキューブ大阪)

流井守の、
30分以内で回る
ハイライトコース

グランキューブ大阪の正面、優美なアーチの堂島大橋を渡り堂島川右岸にて東を眺めれば、眼前には、幾重にも連なる中之島の壮麗な摩天楼。水辺のモダンな大都会を肌で感じることでしよう。玉江橋を渡れば、カフェにマルシェに、思わず立ち寄りたくなる小粋な親水空間「中之島バンクス」が。川風に吹かれ、ビルと緑と水と光が織りなす、この島ならではの特別な美しさをご堪能あれ。水の都・中之島で、都会の親水ウォークのひとつときを。

グランキューブ大阪→堂島大橋→(堂島川右岸)→玉江橋→(中之島バンクス)→グランキューブ大阪

越中橋を渡って
中之島へ
ティーサロン&バー
カルチャエラタン

越中橋→中之島

中之島

中之島

中之島

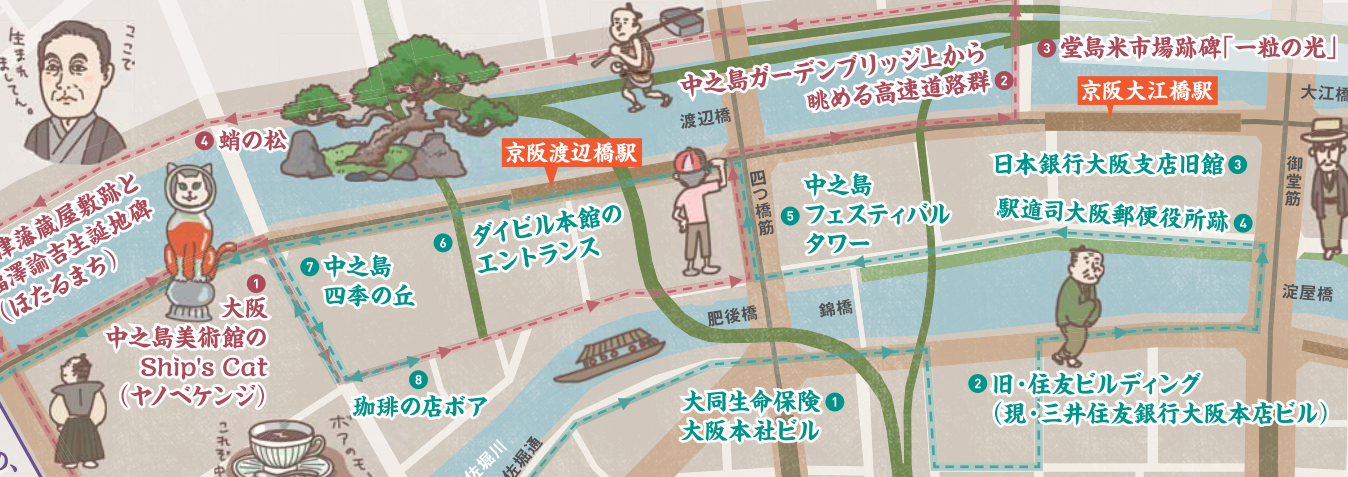
中之島

A. 建築と水が織りなす島の、世紀をまたぐ時間旅行ウォーク

モダンとクラシックが交差する島は、水と石とガラスが奏でる建築の舞台。ヴォーリズの魂を受け継ぐ①大同生命大阪本社ビルから東へ歩けば、「質実剛健」を旨とする一族の理念を表す②旧・住友ビルディングの、整然と列成す窓が醸す風格よ。

淀屋橋を渡れば辰野金吾らの手による③日本銀行大阪支店旧館。門前に鎮座するは近代郵便発祥の地、④駅通司大阪郵便役所跡の黄金色ポスト。モダン建築並ぶ島の中心部には、⑤中之島フェスティバルタワー。かつての壁面を飾った《牧羊、音楽を楽しむの図》が信楽焼にて蘇り、現代の塔に新たな息吹を吹き込む。忘れてならぬは⑥ダイビル本館。往年の意匠を今に映すエントランス。ビルの西に隣接する⑦中之島四季の丘は、季節の花が楽しめる憩いの広場。⑧珈琲の店ポアで休息し、玉江橋から堂島川右岸に渡りて、摩天楼と⑨堂島大橋の姿ひらけて清々し。いざ歩かん、建築の群像、歴史の証し。ここぞ水都の華舞台なり。

グランキューブ→(19分)→①大同生命保険→(4分)→②旧・住友ビル→(7分)→③日本銀行大阪支店→(0分)→④大阪郵便局所跡→(5分)→⑤フェスティバルタワー→(6分)→⑥ダイビル本館→(2分)→⑦中之島四季の丘→(2分)→⑧珈琲の店ポア→(14分)→⑨堂島大橋→(1分)→グランキューブ(60分/4.1km)



B. 江戸の昔へひとつ跳び 蔵屋敷の記憶と歩く水辺ウォーク

この島はかつて、全国諸藩の蔵屋敷がひしめき合い、米に物資に文化、活気あふれた天下の拠点。その名残は石碑や跡碑となり、歩けば先人の息遣いが甦る。①大阪中之島美術館前は、「廣島藩蔵屋敷」の御船入跡。そこに鎮座するは船乗り猫の《Ship's Cat》。堂島川に架かる②中之島ガーデンブリッジから望めば、高速道路と観光船が上下に行き交う、現代ならではのスペクタクル。

堂島川の対岸から島を南に眺めて歩けば、③堂島米市場跡の巨大米粒、「浪花百景」に描かれた④蛸の松、水辺都市はたるまちには⑤中津藩蔵屋敷跡と福澤諭吉誕生の碑と、江戸の香り漂う景色が続く。南進して二橋を渡り、⑥カルチャエラタンでひと休み。すると⑦⑧薩長の蔵屋敷がご近所さんという意外性。締めは夕日の名所、⑨越中橋。歩むほどに、江戸～幕末の商都の面影が薫り立つ。

グランキューブ→(10分)→①Ship's Cat→(12分)→②ガーデンブリッジ→(1分)→③堂島米市場跡→(11分)→④蛸の松→(3分)→⑤中津藩蔵屋敷跡→(8分)→⑥カルチャエラタン→(2分)→⑦長州萩藩蔵屋敷跡→(4分)→⑧同・薩摩藩→(1分)→⑨越中橋→(5分)→グランキューブ(57分/4.0km)

※表面もせひ